



むら みささ村だより



発行：みささ村地域協議会 ☎ 0858 - 43 - 5201

公民館部

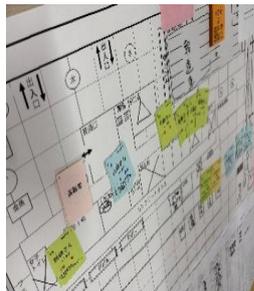
知ろう！学ぼう！そなえよう！
もしもの時あなたならどうする？



3月16日(日)みささ村公民館にて、『防災学習会』を開催しました。当日は、防災士資格を有する田淵忠昭氏から～あの時、能登半島で何が起きていたのか～の講話、建築士会女性部による避難所運営ゲームや鳥取大学学生による防災ボトル作りを学びました。避難所運営ゲームでは、避難者それぞれが抱える事情等が書かれたカードを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、避難所で起こり得るさまざまな出来事にどう対応していくのかをグループで考え誘導するなど模擬体験しました。

災害への備えについて学ぶワークショップで紹介されたのは、100円ショップなどで手に入るプラスチックボトルを活用した「防災ボトル」の作り方です。断水時に用が足せるエチケット袋やコンパクトでカロリーが高い非常食などを中に詰めました。

実際の災害時をイメージした自分の取組を考えるための貴重な体験でした。日常からの支えあいやつながりづくりによる防災・減災を考え、取り組んでいくための貴重な機会となりました。



素早く判断をして避難者を適切な場所に誘導。
仮設トイレの位置も決めなければいけません。

大切な物を収納した自分用の「防災ボトル」を準備して、災害に備えておけば心強いですね！

防災備蓄品



※食糧や生活必需品のほか、乳幼児がいる家庭や持病のあるかたなどは、それぞれの状況に合わせた備蓄をしましょう。

福祉厚生部

月1作業Day

三朝温泉の玄関口にあたる『三朝キューリー公園(大瀬ポーキ)』。イノシシに荒らされないよう設置していたネットの撤去作業を3月9日(日)に行いました。三朝キューリー公園となり15年目の活動がスタートしました。桜、水仙、芝桜と春の花が次々と開花予定です。



今年、どんな風景になるでしょうか？



三朝キューリー公園周辺除草作業予定

※5月18日(日)・7月6日(日)・10月12日(日)に作業が計画されています。草刈機による除草、除草した草あつめなど ボランティアを募集します。皆さんの力を貸してください。お願いします！

モルック体験会 参加費:無料

4/26 土

午前 10 時～11 時半

場所 ふるさと健康むら
(雨天:町総合スポーツセンター)

グラウンドゴルフ大会

4/29 火祝



開会式:午前8:15 競技開始:午前8:30

場所:ふるさと健康むら

※詳しい内容は、回覧文書をご覧ください。

地域防災士のコラム

【大震災と 家屋の倒壊 大火災】大地震が起きると、家屋の倒壊に大火災が起きるのはなぜか？

○家屋の倒壊について

耐震基準が適用されたのは1981年6月1日以降なので、2024年時点では、築42年以内の建物であれば基本的に新耐震基準で建てられていると考えていいでしょう。つまり、1981年6月1日以前の建築家屋が大地震には倒壊危険が大きいとすると、現在日本国中に倒壊危険家屋が多いです。そこで、震度5強から上の震度の地震が発生すると数秒で倒壊する家屋が存在すると考えていいでしょう。今一度、自分の住んでいる家屋を点検して見ましょう。

○大地震と火災について

歴史的に大地震が起ると大火災が発生しています。原因は、さまざまな要因があります。今回は近年の状況を挙げてみました。地震による家屋の倒壊や家具の転倒により、ガス管や電気配線が破損する、ストーブなどの暖房器具に可燃物が接触することにより火災が発生します。また、地震による停電が復旧した際、スイッチが切れていない電気器具が通電状態となり、火災となる通電火災も多く発生しています。

・平成7年1月17日『阪神・淡路大震災』では、地震により293件の火災が発生。焼失面積が80万平方メートルを超え、死者6434人のうち焼死が死因の12.8%を占めるなど多くの方が火災で亡くなっています。

・平成23年3月11日『東日本大震災』では、地震の揺れや津波により、330件もの火災が発生。

・令和6年1月1日『能登半島地震』では、地震の大きさに追い打ちをかけるように被害を大きくしたのが、火災です。観光地「輪島朝市」では、およそ、200棟が焼けました。

木造建築がある限り、燃えるのが火事、季節風の強い時やフェーン現象(乾燥した風)があれば、もっと大火になった可能性があります。日本海側では大火が過去いくつもあった。鳥取県でも、過去大火はいくつも発生しています。

特に地震と同時に起こる火災は、地震発生⇒長周期地震動を伴う揺れ⇒家屋の倒壊⇒逃げる間もない倒壊した家の下敷きになる⇒逃げだせない⇒助けも来ない、来られない⇒圧死状態又は圧死⇒意識不明におちいる⇒同時に何処かで火災発生⇒地震のためラフラインの損傷⇒消火が間に合わない、来られない、水が出ない、道路が通行できない⇒消防隊員、消防団員も被災している⇒最悪の事態に陥る。

◎日頃から、何時やって来るか見えない災害に「想定外」ではなく「想定内」と意識しておきたい。

地域防災士:T.T

みささ村公民館 場所:三朝町山田608(スポーツセンター入り口向い)



★公民館の利用は、事前申込が必要です。電話(留守電有)・FAX・Eメール・来館で受け付けています。

お名前と連絡先を必ずお知らせください。利用時間は、昼間・夜間の利用もできます。



■お急ぎの場合は、役場企画健康課(電話43-3506)までお願いします。

★利用後は、後片付けをきちんとして下さい。ゴミは、お持ち帰して下さい。

★事務局員滞在時間は、毎週月曜日～金曜日 午前9:00～午後1:00

★電話43-5201(FAX兼用)

こちらのQRからアクセス⇒



・電話:43-5201(FAX兼用) ・メール:misasamurakyougikai@gmail.com